



2017年3月期 報告書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

ごあいさつ

社長の乾康之でございます。

二つの100年会社が経営統合により、一つになって2カ年半。

本年4月から、「はじめての中期経営計画～今を生きる、明日を生きる～」の1年目が始まります。

不況の海運、縮小傾向にある倉庫・運送事業、当社を取り巻く経営環境は大変な厳しさが続きます。

この苦しい状況乗り越え、明日の成長に繋げるために、様々な施策に取り組んでまいります。

経営方針は、「資産の力を事業の力に」、「カイゼンは宝」、「“らしさ”の追求」としました。

我々は、価値ある独自性を発現することで、今を生き、明日を生きてまいります。

ステークホルダーの皆様、これからも乾汽船をよろしくお願いいたします。



2017年6月

代表取締役社長 乾 康之

当期の概況

当連結会計年度における世界経済環境としては、米国では所得や個人消費を取り巻く環境の改善を背景に景気は堅調に推移し、欧州では英国のEU離脱による混乱は落ち着き、景気は緩やかに回復しました。中国では公共投資により景気が下支えされ、減速感は一服しました。日本経済におきましては個人消費や設備投資の回復は依然弱いものの、雇用情勢は底堅く、景気は緩やかに持ち直しつつあります。

このような状況下、当連結会計年度における当社グループの業績におきましては、売上高は17,889百万円、営業損益は2,179百万円の損失、経常損益は2,346百万円の損失、親会社株主に帰属する当期純損益は880百万円の損失となりました。

当社グループのセグメント別の業績の概況

①外航海運事業(ロジスティクス)

外航海運事業におけるドライバルク船市況は、歴史的な市況低迷期から徐々に回復してまいりましたが、依然として船腹供給過剰の状況が継続しており、本格的な回復には至らず採算を大幅に割り込む水準となりました。11月以降、大西洋において市況が急回復する局面がありましたが、当社船隊は太平洋を主要水域としており、影響は限定的でした。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、売上高は前年同期比2,610百万円減収(△22.7%)の8,897百万円となりましたが、セグメント損益は前連結会計年度における減損損失計上に伴う減価償却費の減少等により、前年同期比1,218百万円改善し、3,484百万円の損失となりました。

②倉庫・運送事業(ロジスティクス)

国内の物流業界におきましては、貨物保管残高は前年同期を下回る水準で推移し、貨物取扱量は前年同期と概ね同水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの倉庫・運送事業におきましては、前第2四半期連結会計期間より連結子会社となったイヌイ運送株式会社の収益寄与により、売上高は前年同期比326百万円増収(+7.8%)の4,504百万円となりました。セグメント損益は売却による施設の減少等により、前年同期比6百万円減益の11百万円の損失となりました。

③不動産事業

都心部の賃貸オフィスビル市況は空室率の改善傾向が見られ、賃料水準も小幅な上昇が続いております。また、東京23区の賃貸マンション市況は昨年の年明け以降、軟化傾向にあり前年同期を若干下回る水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきましては、既存賃貸物件の稼働率が上昇したものの、持分法適用会社の株式譲渡に伴う施設の減少等により、売上高は前年同期比491百万円減収(△9.9%)の4,487百万円となりました。セグメント利益は既存賃貸物件の稼働率上昇による収益寄与に伴い、前年同期比44百万円増益(+2.0%)の2,220百万円となりました。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、先進国経済の回復や新興国経済の持ち直し等が見込まれますが、世界的な保護主義化や地政学的リスクの高まり等もあり、先行きは不透明な状況にあります。また、日本経済においては雇用・所得環境の改善が続く一方で、個人消費の低迷や海外経済の下振れリスク等が懸念されます。

このような状況下、外航海運事業では、ドライバルク船市況は当期を上回る水準で推移すると見込んでおりますが、本格的な回復までには至らず、引き続き採算を割り込む状況が続く見込みです。

倉庫・運送事業でも内需の縮小や競争激化等により、引き続き厳しい状況が続く見込みです。

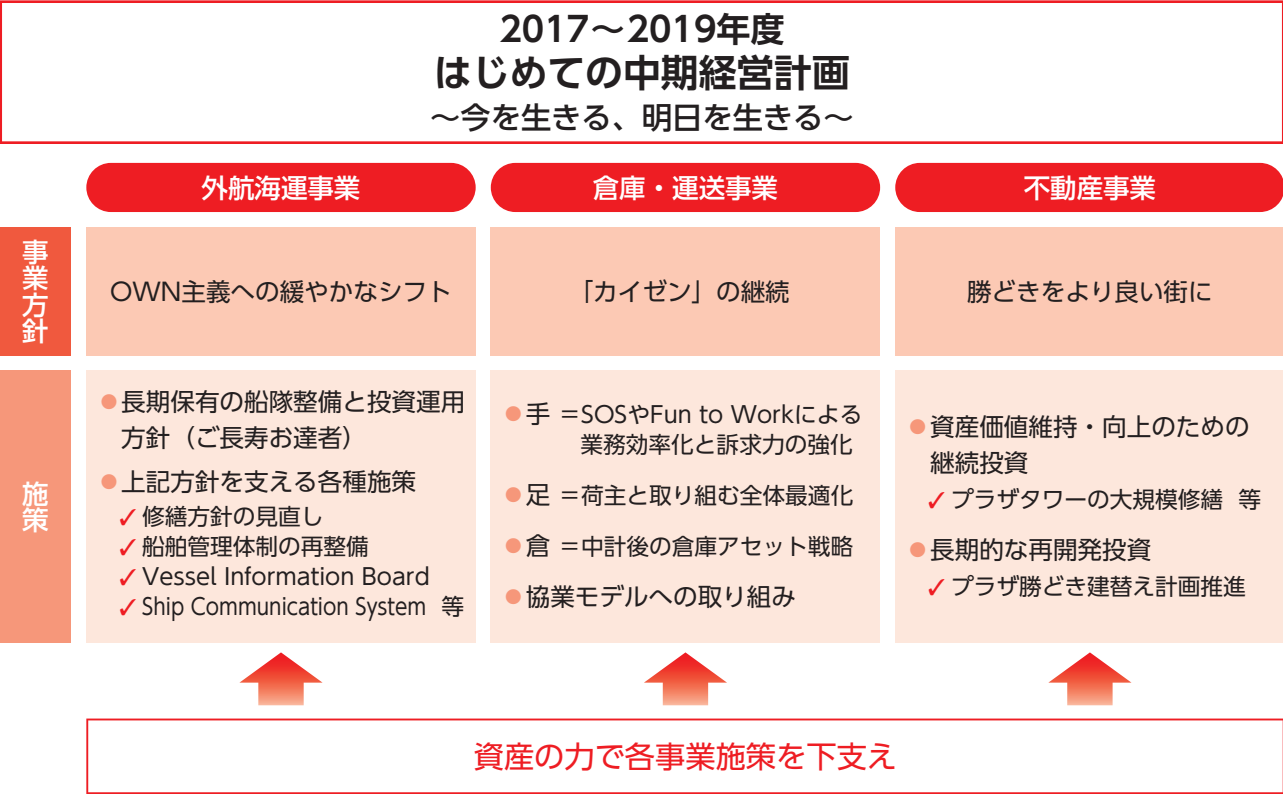
不動産事業では、賃貸市場の回復にも一服感が見られ、また、エリア内競争等もあり、楽観を許さない状況にあります。

次期の業績予想につきましては、売上高は21,289百万円、営業利益は872百万円、経常利益は719百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は764百万円となる見込みです。

「はじめての中期経営計画～今を生きる、明日を生きる～」策定について

当社は、2017年2月に中期経営計画「はじめての中期経営計画～今を生きる、明日を生きる～」(計画期間：2017年4月～2020年3月)を策定しました。当中期経営計画では、①資産の力を事業の力に、②カイゼンは宝、③「らしさ」の追求、という3つの経営の基本方針を定め、不況を乗り越り成長するための自助努力を推進してまいります。

各事業における計画の概要は下記のとおりです。当社ウェブサイト (IR(投資家情報)-中期経営計画) の補足説明資料も併せてご参照ください。(http://www.inui.co.jp/ir/library/managementplan.html)



単位：百万円 (記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。)

連結貸借対照表(要旨)

科 目	当連結会計年度 2017年3月31日現在
(資産の部)	
流動資産	16,578
固定資産	31,647
有形固定資産	26,840
無形固定資産	281
投資その他の資産	4,525
資産合計	48,226
(負債の部)	
流動負債	7,417
固定負債	22,281
負債合計	29,699
(純資産の部)	
株主資本	17,493
資本金	2,767
資本剰余金	11,625
利益剰余金	4,110
自己株式	△1,010
その他の包括利益累計額	1,033
その他有価証券評価差額金	572
繰延ヘッジ損益	16
為替換算調整勘定	445
純資産合計	18,527
負債純資産合計	48,226

連結損益計算書(要旨)

科 目	当連結会計年度 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
売上高	17,889
売上原価	18,617
売上総損失	△727
販売費及び一般管理費	1,452
営業損失	△2,179
営業外収益	418
営業外費用	585
経常損失	△2,346
特別利益	1,816
特別損失	586
税金等調整前当期純損失	△1,116
法人税、住民税及び事業税	175
法人税等調整額	△410
親会社株主に帰属する当期純損失	△880

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	当連結会計年度 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	384
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,660
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,176
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13
現金及び現金同等物の増減額	2,855
現金及び現金同等物の期首残高	10,266
現金及び現金同等物の期末残高	13,121

会社概要

会社の概況（2017年3月31日現在）	
資本金	27億6,750万3,820円 (東京証券取引所市場第一部上場)
本社	東京都中央区勝どき一丁目13番6号
従業員数	連結178名、単体74名
主要な事業内容	●外航海運事業 船舶の自社運航による貨物輸送、船舶貸渡業 ●倉庫・運送事業 倉庫、荷役、貨物運送、物流不動産事業の企画、開発、賃貸、仲介並びに建物管理 ●不動産事業 施設賃貸

取締役・監査役（2017年6月23日現在）

代表取締役社長	乾 康 之
取締役	乾 隆 志
取締役	苦 瀬 博 仁 ※
取締役	川 崎 清 隆 ※
取締役	神 林 伸 光 ※
常勤監査役	高 橋 幸一郎 ※
監査役	田 中 正 人 ※
監査役	尾 崎 輝 郎 ※

(注) ※印は社外取締役及び社外監査役であります。

執行体制（2017年6月23日現在）

社 長	乾 康 之
専務執行役員	乾 隆 志
執行役員	清 水 光 洋 特命事項担当

グループ構成

- 乾汽船株式会社
〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号
☎03(5548)8211
外航海運事業、倉庫・運送事業及び不動産事業を行っております。

主な連結子会社

- DELICA SHIPPING S.A.
Banco Aliado Tower,Ricardo Arias Street, Suite 12-B,
Panama City, Republic of Panama
船舶の所有及び貸渡業を行っております。
- イヌイ運送株式会社
〒135-0062 東京都江東区東雲二丁目1番10号
☎03(3528)1254
主に法人向けの引越業(転勤引越、事務所移転)を行っております。
- イヌイ倉庫オペレーションズ株式会社
〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号
☎03(5548)6110
倉庫内作業(入出庫作業・在庫管理業務等)及び配送業務を行っております。

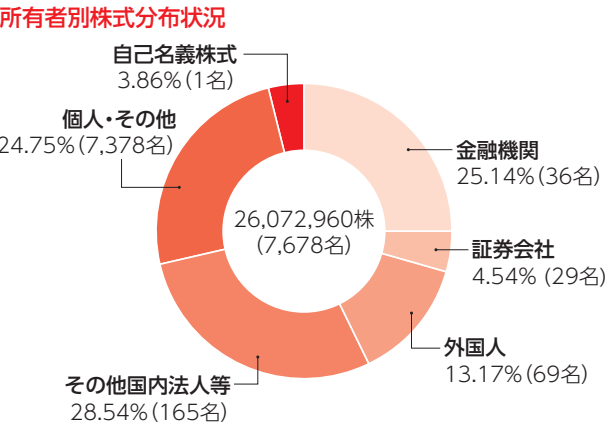
株式情報

株式の状況（2017年3月31日現在）

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式総数	25,065,373株 (自己株式1,007,587株を除く)
株主数	7,678名

大株主		
株主名	持株数(千株)	持株比率
インタートラスト トラストィーズ ケイマン リミテッド アズ トラスティー オブ ユビキタス ファンドークラス ディー	1,521	6.07%
東京海上日動火災保険株式会社	1,283	5.12%
立花証券株式会社	1,005	4.01%
松岡冷蔵株式会社	992	3.96%
アルファレオ1号投資事業有限責任組合	985	3.93%
株式会社商船三井	957	3.82%
エムエルアイ フォークライアントジェネラル オムニノンコラテラルノントリーティービービー	931	3.72%
乾 民治	902	3.60%
株式会社三井住友銀行	848	3.38%
乾 英文	698	2.79%

(注)持株比率は、当社が保有する自己株式(1,007,587株)を控除して計算しております。



ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主の皆様のお役にたてるよう、決算情報をはじめ、決算説明会の模様などの会社情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.inui.co.jp/>



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要ある場合は、 あらかじめ公告した日
公告方法	当社のホームページに掲載。 (http://www.inui.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社の ホームページに掲載することができない場合は、 日本経済新聞に掲載。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

当社は、単元株制度を採用しており、1単元は100株です。
単元未満株式(1～99株)は議決権がなく、また証券市場
にて売買することができません。

単元未満株式につきましては、法律及び当社定款・株式
取扱規則の規定に基づき単元未満株式の買取・買増請求
制度をご利用いただけます。

株式に関する各種手続き、問い合わせ先

1.証券口座に株式をご所有の株主様

お取引証券会社にお問い合わせください。

2.特別口座に株式をご所有の株主様

下記の、特別口座管理機関にお問い合わせください。

・旧イヌイ倉庫の株主様

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話0120-288-324(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

・旧乾汽船の株主様

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話0120-782-031(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)



〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号 プラザタワー勝どき
TEL: 03(5548)8211(代) <http://www.inui.co.jp/>

